



世界の面白モノネタを高橋信之がPICK UP!

# 面白MONO 世界漫遊記

## 第二回「戦う男たちの絆は、限定コイン交換で！」



協力 (株)イーカンパニー  
<http://www.ecompany.co.jp/>  
米軍PX商品販売店 MCSS(三沢市)  
<http://www.misawa-mcss.com/>

### 高橋信之さん 空想科学雑貨愛好家

空想科学ガジェットと面白雑貨キミックをこよなく愛する不良中年ライター。日本最大のアマコミック輸入玩具店「ブリストアストア」埼玉の基盤プロデュース。

**米** 軍将兵から始まった仲間の証、任務遂行の誇りを表すメダルがある。それがチャレンジコイン。

軍や国家から授かる勲章やバッジと違い、部隊の将兵や上官がお金を出し個人的に作る記念メダルだ。

第一次大戦中、ドイツの制空権域で墜落したが、無事に連合軍域に帰還した米軍パイロットが持っていた特製メダルが始まりだといふから、当初はお守りの要素も強かったようだ。その後、朝鮮戦争あたりから普及が始まり、今では米軍だけでなくFBIやCIA、NY市警や消防隊などもチャレンジコインをもつ。

部隊ごとのエンブレムや階級、作戦名を装飾した刻印には彩色される場合も多い。

上官が作ったコインは部下の動きを誉めるときに与え、仲間が作るコインはチームや作戦に参加した記念。ベトナム戦争の頃からコレクションや交換が始まった。

合同で作戦や演習を組んだ他の部隊相互の交流とか、急遽の編成で顔を合わせたバディ(仲間)が即席で友情を結ぶには、なんらかの交換は有効だった。

親愛や慰労感謝を表すギフトやチップとしての効果がある。

我が国の自衛隊も在日米軍との演習時に部隊交流があり、コインの意義が理解された。

最近では企業とかチェーン店とかの業績キャンペーン参加スタッフにも配られる。

しかし、これって「遊戯王」や「ポケモン」、その他さまざまなトレーディング系遊戯のカードやモンスター交換にも相通じるでしょ。男の子は幾つになっても同じだ。

集めたい、見せたい、交換したい。

コレクションの本質は子どももアキバ系も軍人さんも同じです。

だがチャレンジコインは他のトレーディングアイテムと違う魅力がある。

それはデザインのカスタム化。

自分の中隊や小隊、気のあった仲間たちだけのデザインでコインを刻印する。

元陸軍グリーンベレー部隊の大佐ビンセント・ザイク氏が社長を務めるチャレンジコイン社では最小ロット50枚10万円ほどでオリジナルデザインのコインが製造できる。

しめた! ここに頼めばアキバ系チャレンジコインも作れるぞ!

「オンラインゲームのギルド戦城攻め参加隊員」「メイド喫茶十店舗制覇記念」「ガンブラ制作100体記念」「ホールインワン記念」などなど。軍隊や警察向けに本物のコイン作ってるところが、こんなおボんちな企画を受けてくれれば……ただだね。